

福祉生活病院常任委員会資料

(平成26年10月9日)

【件名】

中央病院建替整備基本・実施設計業務の公募型プロポーザルの選定結果について

(病院局総務課) …… 1

病 院 局

中央病院建替整備基本・実施設計業務の公募型プロポーザルの選定結果について

平成26年10月9日
病院局総務課

中央病院建替整備基本・実施設計業務の公募型プロポーザルについて、技術提案書評価委員会の評価結果を踏まえ、下記のとおり最優秀提案者を選定しましたので報告します。

記

1 技術提案書評価委員会の開催日時等

- (1) 開催日時 平成26年9月29日(月) 午前9時から午後5時30分
(午前10時20分から午後3時10分までは応募者への公開ヒアリング)
- (2) 会場 県庁第22会議室ほか
- (3) 委員会構成
中山 茂樹 委員長 (千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻教授)
窪田 敏行 委員 (近畿大学名誉教授)
虎井 佐恵子 委員 (鳥取県看護協会会長)
井本 芳子 委員 (中央病院患者家族代表)
日野 理彦 委員 (中央病院長)

2 応募状況

7設計共同体

(内藤・羽子田設計共同体、日建・安本設計共同体、石本・桑本設計共同体、
佐藤総合計画・白兔設計共同体、久米設計・桑本総合設計設計共同体、
梓設計・アーキテック設計共同体、日本設計・本間設計設計共同体)

3 選定結果

- (1) 最優秀提案者 日建・安本設計共同体
(代表者：株式会社日建設計大阪オフィス(大阪市)、
構成員：有限会社安本設計事務所(倉吉市))
- (2) 選定理由
○複合水害を強く意識し、救急等診療部門が入るフロアを想定浸水高より大幅に余裕のある高さに設定し、その下に病院エントランスに特化した地上階を設けることで既存外来棟各階と完全に高さを合わせた階高を計画(水害対策を講じながら既存外来棟2階と段差なく接続可能な唯一の提案)
○2看護単位分のスタッフステーションの周りを病室が取り囲む構成の病棟配置とすることで、病棟間の密接な連携、病棟運営の格段の柔軟性を確保し、看護動線の短縮に寄与
○ほとんどの診療科が1フロアに集約され、放射線部門の視認性も優れた全体がわかりやすく安心感のある外来部門構成

4 今後のスケジュール

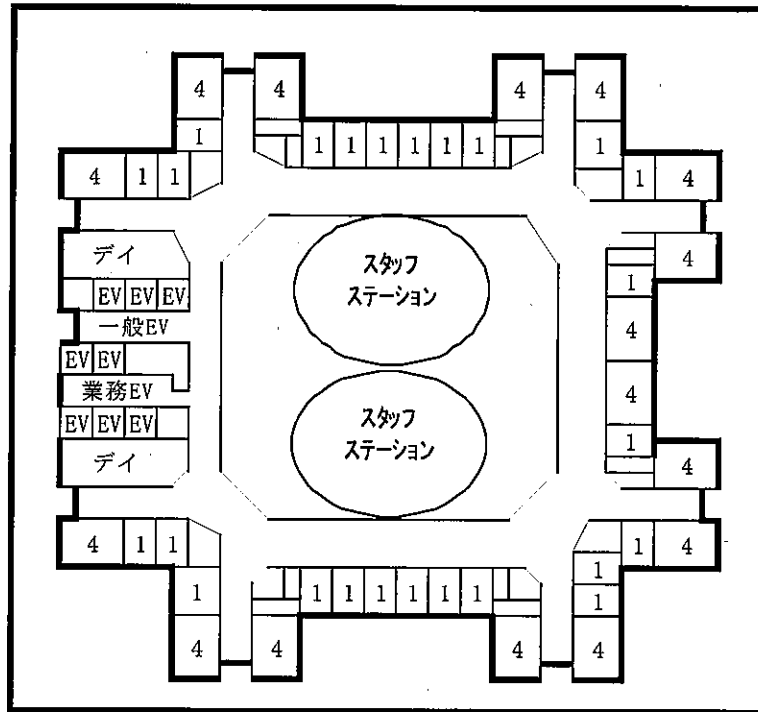
- ・最優秀提案者と見積合せを行い、近日中に契約を締結(予算額338,951千円)
- ・基本設計の納期：平成27年7月
- ・実施設計の納期：平成28年5月

5 参考(最優秀提案者(代表者)の県内外の実績)

- (1) 県内 厚生病院本館等改築工事設計委託業務(平成17年5月完了)
- (2) 県外 県立尼崎病院・県立塚口病院の統合新病院にかかる基本設計及び
実施設計業務委託(延77,636㎡ 730床 平成24年3月完了)ほか

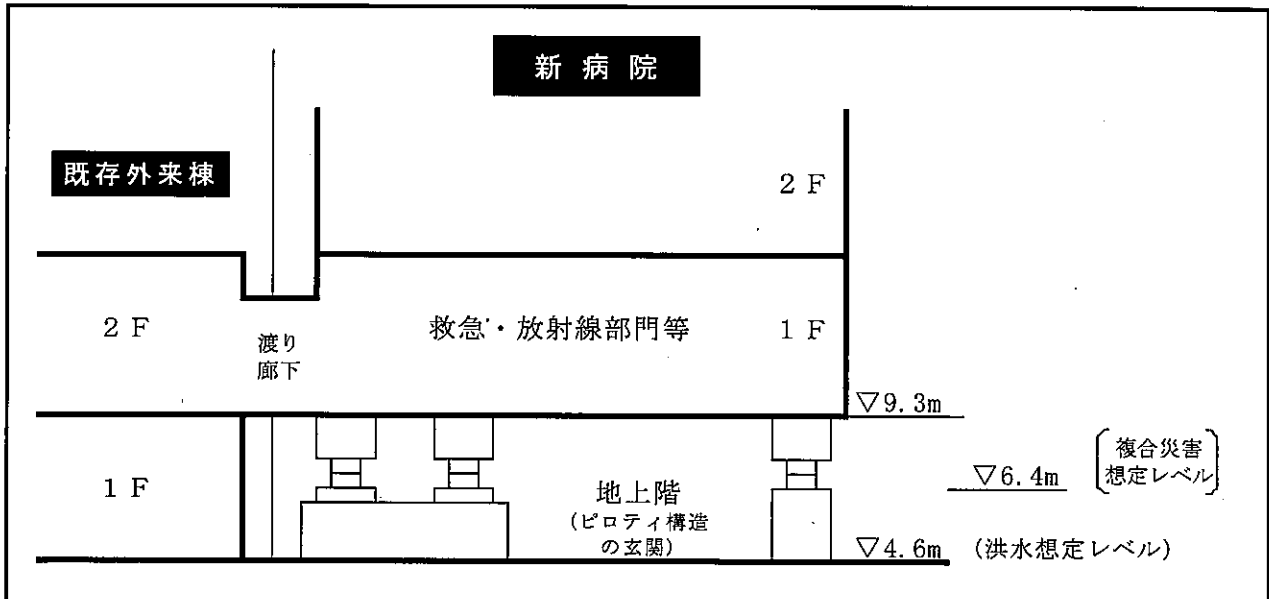
選定された技術提案書の特徴的な提案内容

【病棟のイメージ】



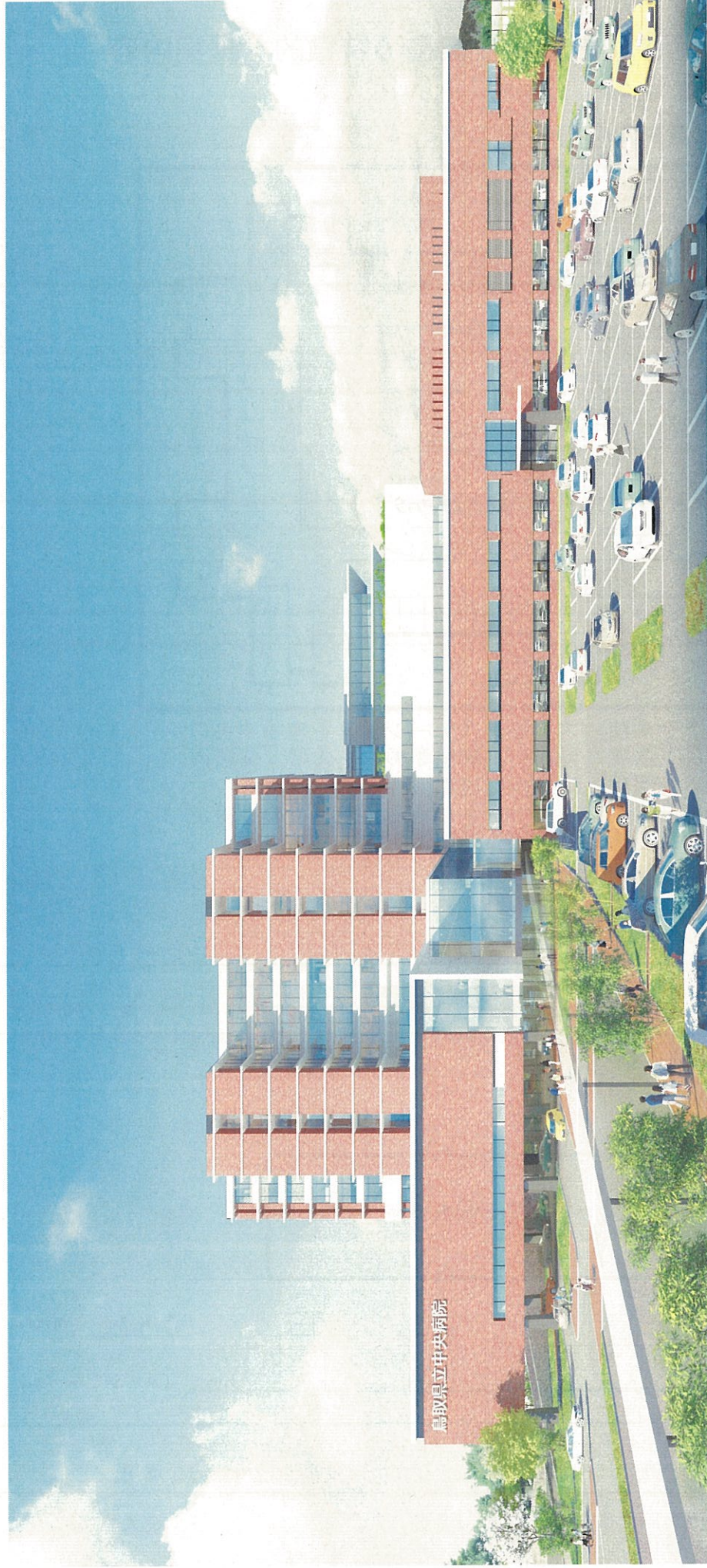
- ・ 2病棟のスタッフステーションを建物中央の1箇所に集約し、病棟間の相互応援、業務の効率化、将来の機能拡張性に対応
- ・ スタッフステーションから病室までの動線が短く適時・適切な看護が可能

【新病院と既存施設の取り合いのイメージ】



- ・ 洪水でも浸水しない高さに地上階を設置することで外来棟の一体的な運用、本館解体後に整備される駐車場からのフラットな移動が可能
- ・ 救急、放射線部門等診療部門は、洪水・津波の複合災害の想定レベルを大幅に上回る床レベルを確保

選定された技術提案書の新病院完成イメージ



(注) 技術提案段階のイメージとして示されたものであり、この外観に決定したものではない。